

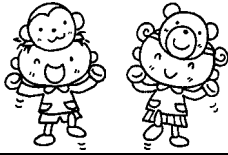




＜言葉のめばえ＞



		0 歳 児	
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ○身近な絵本に興味をもち、保育者とのふれあいを楽しむ。 ○保育者と一緒に簡単な言葉や動きのやりとりができる遊びを楽しむ。 	
内容	健康 人間関係 環境 言語 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を通して、食べる真似をし、食べ物に興味をもつ。 ・保育者の膝の上で、ゆったりとした気持ちで絵本を見る。 ・保育者の語りかけに安心したり、心地よさを感じたりする。 ・絵本に興味をもち、繰り返し見ることを楽しむ。 ・絵本の中で興味をもったものに言葉や動きで反応する。 ・保育者の言葉や動きを真似しようとする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">0歳児が楽しめる絵本 「がたんごとん がたんごとん」 「くだもの」「どうぶつのおやこ」 「いないいないばあ」</p> </div>	
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> ・保育者とのふれあいを喜び、自分から保育者の膝にのろうとする。 ・絵本の端を舐めたり、噛んだりすることもある。 ・保育者の膝の上で、絵本を見つめたり、指さしたりして喜ぶ。 ・知っているものや好きなものを見つけると、「あーあー」と声を出すようになる。 ・指先がうまく動かせるようになり、自分でページをめくることを楽しむ。 ・絵本コーナーを指さしたり、興味のある絵本を保育者の所へ持って行ったりして、絵本を見たいという思いを保育者に伝えようとする。 ・自分の好きなページや絵本を何度も繰り返し見ようとする。 ・食べ物の絵を見て、つまんで食べる真似をしたり、保育者に食べさせようとしたりする。 ・保育者の言葉や動きを真似て、「わんわん」など声を出したり、表現したりすることを楽しむ。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p style="text-align: center;">にゃあにゃあ だね</p> </div> <div style="display: flex; gap: 10px;">   </div> </div>	
援助・配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・身近な親しみやすいものが出てくる絵本（食べ物、動物、乗り物）、リズムカルな言葉の繰り返しが多い絵本、色鮮やかな絵本、簡単なストーリーのある絵本、触れて遊びながら楽しめる絵本（布製のもの、木製のもの、音の出るもの）、子どもの手のサイズに合った大きさの絵本などを選ぶ。 ・絵本を置くときは、表紙がよく見えるように工夫し、子どもがいつでも手に取れるようにする。（段ボールで傾斜のある絵本棚を作る、布に透明のポリシートを縫い付けてポケットを作り絵本を入れるなど） ・子どもが絵本を噛みちぎって食べないように、厚めの本を用意する。また、絵本を噛んで遊ぶ姿が見られた時は、「かみかみしないよ」と声をかけたり、絵本を開いて見ることに興味に向くようにしたりする。 ・保育者の膝にのせてスキンシップを図りながら、1対1のかかわりを大切に ・絵本を読む時は、子どもが聞き取りやすいように、優しい口調でゆっくり、はっきりと語りかける。 ・子どもがを見つけ、指さした物の名前を保育者が「そうね、〇〇ね」などと繰り返し、受け止めたり、物と言葉をつなげたりする。 ・子どもの要求に応じて、子どもの好きなページ、好きな絵本を繰り返し読む。 ・簡単な言葉の繰り返しや模倣を通して、子どもの表情や身ぶりなど、やりとりの中で発語を促す。 	



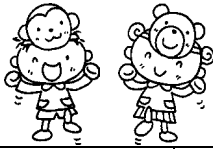
<言葉のめばえ>

		1 歳 児
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ○保育者とのやりとりを通して語彙が増え、言葉を使うことを楽しむ。 ○保育者や友達と簡単な言葉のやりとりを楽しむ。
内容	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の語りかけを喜び、片言や身振りで表すことを楽しむ。 ・保育者の言葉や動きを真似して楽しむ。
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・興味ある絵本を保育者と一緒に見ながら、簡単な言葉のくり返しや模倣をして遊ぶ。
	環境	
	言語表現	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>1歳児が楽しめる絵本 「もこもこもこ」 「はらべこあおむし」 「できるかな」</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">♪ばんばん、ばんばん ばんばん♪</div>  </div>
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> ・手遊びなど、簡単な仕草を真似て楽しんでいる。 ・保育者の言葉を真似して言ったり、同じ動きをしたりする。 ・気に入った絵本を保育者のところに持ってきて、読んでもらおうとする。 ・保育者と一緒に絵本を見ながら、好きな場面を指さしたり、繰り返しの言葉を言ったりして楽しんでいる。 ・絵本を見ていて知っているものが出てくると、「ブーブ」「ワンワン」「りんご」などと声を出して言う。 ・身振りや片言で、自分の思いや要求を伝えようとする。 ・物への興味が広がり「なに?」「これは?」と保育者に聞く。 ・おはなしの一部分を、保育者と一緒に遊びの中で表現する。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>
援助・配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが興味を示すような、繰り返しのある真似のしやすい手遊びや絵本を選ぶ。 ・日々の保育の中で絵本の読み聞かせをしていくことで、言葉の面白さや発語することの楽しさを感じられるようにする。 ・子どもが仕草や片言で伝えようとしている姿を優しく受け止めて、発語につながる言葉かけや関わりを大切にす。 ・言葉にはならなくても、伝えようとしている気持ちや表情を汲みとり、保育者がわかりやすい言葉で丁寧に応答する。 ・言葉で相手に伝わったことの喜びを共有しながら、言葉のやりとりが楽しめるようにする。 ・「上手だね」「同じだね」「できたね」など、模倣して楽しむ姿に共感する。 ・子どもの表情や反応を見ながら、絵本の読み方を工夫したり言葉をかけたりする。 ・好きな絵本は、繰り返し満足するまで読む。 ・保育者と一緒に絵本に出てくる簡単な言葉をやりとりしたり、動作を模倣したりするなどして、表現する楽しさを感じられるようにする。

＜劇遊び＞



2 歳 児							
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○好きなものになって表現することを楽しむ。 ○保育者や友達と一緒に同じことをして楽しむ。 						
内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; border-right: 1px dashed black;">健康</td> <td rowspan="5" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 2歳児が楽しめる絵本 「三びきのこぶた」 「おおきなかぶ」 「おべんとうバス」 「おおかみと七ひきのこやぎ」 </td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; border-right: 1px dashed black;">人間関係</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; border-right: 1px dashed black;">環境</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; border-right: 1px dashed black;">言語</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; border-right: 1px dashed black;">表現</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて歌ったり、踊ったりすることを楽しむ。 ・好きな絵本や紙芝居に出てくる繰り返しのある言葉のやりとりを楽しみ、保育者や友だちとイメージしながら劇遊びを楽しむ。 ・自分の役のお面や衣装を着けて喜びながら劇遊びを楽しむ。 ・好きな役や動物などになりきって楽しむ。 	健康	2歳児が楽しめる絵本 「三びきのこぶた」 「おおきなかぶ」 「おべんとうバス」 「おおかみと七ひきのこやぎ」	人間関係	環境	言語	表現
健康	2歳児が楽しめる絵本 「三びきのこぶた」 「おおきなかぶ」 「おべんとうバス」 「おおかみと七ひきのこやぎ」						
人間関係							
環境							
言語							
表現							
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と好きな曲と一緒に歌ったり踊ったりすることを楽しむ。 ・3、4、5歳児の劇を見て簡単な歌や役を真似して遊ぶ。 ・友達と一緒に劇遊びをする中で、簡単な言葉を繰り返し言ったり、身体を動かして役になりきったりすることを楽しむ。 ・みんなの前に出たり、歌ったり踊ったりすることを恥ずかしそうにする。 ・お面など簡単な道具を作り、身に付けて楽しむ。 ・保育者に見てもらい、「かっこいいね」「すてきね」と声をかけてもらえることで張り切って演じる。 ・自分の役を身ぶり手ぶりで表現する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">うんとこしょ！ どっこいしょ！</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">やったあ～ かぶがぬけたあ！！</p> </div> </div>						
援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの広がりに合わせて遊びの遊具を増やす。 ・劇遊びが行えるような空間を確保し、いつでも遊びが楽しめるようにする。 ・絵本の中の繰り返しのある言葉や登場人物など、遊びに取り入れて楽しさを味わえるようにする。 ・保育者も一緒に参加して、遊具や遊びの工夫をしながら友達と一緒に劇遊びの楽しさを味わえるようにする。 ・恥ずかしそうな子どもには「すてきだよ」「今のいいね！」など自信がもてるような声をかける。 						




＜劇遊び＞

3 歳 児											
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉のやり取りをしながら、自分なりに役になりきって動くことを楽しむ。 ○みんなで一緒に遊んだり表現したりすることを楽しむ。 										
内容	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">健康</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に身近なセリフのやり取りを楽しむ。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">人間関係</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本や紙芝居を見たり聞いたりしながら、言葉の面白さに気付く。 ・自分の思いや考えを、自分なりに言葉に出して伝えようとする。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">環境</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな登場人物や動物になりきって動いて遊ぶ。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">言語</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と同じお面や物を持ったり、真似して動いたりすることを楽しむ。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">表現</td> <td> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 3歳児が楽しめる絵本 「ちいさなおしろ」 「おおきなかぶ」 「てぶくろ」 「もりのおふろ」 「3びきのやぎのがらがらどん」 「3匹のこぶた」 </div> </td> </tr> </table>	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に身近なセリフのやり取りを楽しむ。 	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や紙芝居を見たり聞いたりしながら、言葉の面白さに気付く。 ・自分の思いや考えを、自分なりに言葉に出して伝えようとする。 	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな登場人物や動物になりきって動いて遊ぶ。 	言語	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と同じお面や物を持ったり、真似して動いたりすることを楽しむ。 	表現	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 3歳児が楽しめる絵本 「ちいさなおしろ」 「おおきなかぶ」 「てぶくろ」 「もりのおふろ」 「3びきのやぎのがらがらどん」 「3匹のこぶた」 </div>
健康	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に身近なセリフのやり取りを楽しむ。 										
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本や紙芝居を見たり聞いたりしながら、言葉の面白さに気付く。 ・自分の思いや考えを、自分なりに言葉に出して伝えようとする。 										
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな登場人物や動物になりきって動いて遊ぶ。 										
言語	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と同じお面や物を持ったり、真似して動いたりすることを楽しむ。 										
表現	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 3歳児が楽しめる絵本 「ちいさなおしろ」 「おおきなかぶ」 「てぶくろ」 「もりのおふろ」 「3びきのやぎのがらがらどん」 「3匹のこぶた」 </div>										
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や友達と一緒に、同じように動いたり、セリフを言ったりする楽しさを感じる。 ・自分なりの表現をのびのびと楽しむ。「先生見てー」と、その姿を保育者に認めてもらうことを喜ぶ。 ・「今日〇〇ごっこやる？」などと、みんなで一緒に劇遊びをすることを楽しみにする。 ・4、5歳児の劇を見て刺激を受け、自分なりになりきって動いたり見ってもらうことを喜んだりする。 ・道具や場所をめぐって取り合ったり押し合ったりするなど、些細なことでトラブルになることもある。 ・その日によってやりたい役が変わったり、気分が乗らなかつたりすることもある。 ・保護者に見てもらうことを知り、嬉しさから興奮したり、見られることに緊張し不安そうにしたりする姿が見られる。 										
援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって身近な言葉のやりとりや、くり返しの面白さが感じられるような絵本や紙芝居を取り入れる。保育者も子どもと一緒に動いて楽しめるようにする。 ・なりきって遊ぶ楽しさや、くり返しの動作、声をそろえる楽しさを十分に味わえるように、保育者も遊びの仲間になり、楽しさを共有したり見守ったりする。 ・言葉や動作は子どもの感じたままを表現させ、楽しい雰囲気の中で、自分なりに表現することを楽しめるようにする。 ・子どもがなりきりやすいように、簡単な小道具や衣装等を用意する。また、お面等の材料を目に触れやすいところに準備しておき、すぐに作りやすいような環境を整える。 ・その日によってやりたい役が違うので、小道具や衣装等は多めに用意しておきやりたいときにすぐにできるようにしておく。 ・子どもが安心してのびのびと表現できるように席や場をあらかじめ決めておく。 ・4、5歳児や先生たちを招待し、見ってもらう喜びを感じられるようにする。 ・保育参観や発表会では、慣れ親しんだ場所や周囲の環境などを工夫し、いつも通りに表現できるようにする。 ・保育参観や発表会で不安そうな子どももいるので、子どもなりの参加の仕方を認め、安心して楽しめるように励ます。 ・子どもが楽しみながら役になりきって動いたり、友達と言葉のやり取りをしたりしている姿を認め、見ってもらう満足感を十分に得られるようにする。 										





＜劇遊び＞



		4 歳 児
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ○自分のなりたい役になり、自分なりの動きや言葉で表現する楽しさを感じる。 ○友達の思いや動きを受け止めながら表現して遊ぶことを楽しむ。
内容	健康 ----- 人間関係 ----- 環境 ----- 言語 ----- 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のなりたい役を見つけて遊ぶ。 ・自分なりの動きや言葉で表現することを楽しむ。 ・友達と同じ場にいることや同じ動きをすることを楽しむ。 ・自分のしたいことや考えたことを言葉で相手に伝えようとする。 ・同じ役の友達と一緒に動きや言葉で表現し、伝わる喜びを感じる。 ・友達の思ったことや考えたことを聞こうとする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>4 歳児が楽しめる絵本</p> <p>「3びきのやぎのがらがらどん」</p> <p>「おおきなかぶ」「てぶくろ」「ちいさなおしろ」</p> <p>「ぐりとぐら」「7びきのこやぎ」</p> </div>
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> ・「今日は〇〇、明日は〇〇。」と、いろいろな役になってみようとする姿や、同じ役での活動を楽しむ子どももいる。 ・活動を楽しむ中で、思ったことや考えたこと、気付いたことなど、自分なりの言葉や動きで友達に伝えようとしている。 ・身に付けるものを欲しがり、お面や小道具を使って役になりきって遊んでいる。 ・同じ役の友達と一緒に、動きや言葉を合わせていこうとしている。 ・自分なりに力を出そうとする姿を保育者や友達に認められることで、自信をもつことができている。 ・繰り返し遊びを楽しむようになると、他のクラスの劇を気かけたり、他のクラスの友達に見てもらいたいという気持ちが出てきたりしている。 ・出てくる順番や同じ場の中での位置などでトラブルになることがある。
援助・配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・表現しやすく楽しめるようなお話を選び、内容を考えペープサートなどで見せながら自分達がお話の中に入って遊べることを楽しみにできるようにする。 ・いろいろな役になって表現する楽しさを感じられように、その日になりたい役を聞き、思いを受け止めていく。 ・役の人数の偏りや登場する順番がいつも同じ友達で、自分の好きな順番になれないなど、遊びを進めていく中で困ったことが起きた時には、困ったことを皆に知らせ、どのようにしていけばよいかを話し合い、方向性を皆で決めていく。 ・友達のよい所を言葉で具体的に伝え認めていくことで、さらに自信をもって活動に取り組めるようにしていく。 ・子どもたちからでる意見や思いをよく聞き、遊びがより面白くなったり、楽しくなったりできるよう柔軟に遊びを変化させ、感じたことや考えたことを伝える大切さや面白さに気付けるようにする。 ・身に付ける物は、すぐに活動に取り組めるよう、数を多めに用意しておく。 ・役を変えたり、表現方法を変えたりし、遊びの楽しさを感じられるようになったら、「他のクラスみんなに見てもらおうか。」や、「おうちの人にも見てもらいたいね。」など投げかけ、発表会への期待をもてるようにしていく。 ・自分なりに表現することを楽しみ、友達や保護者に見てもらった嬉しさを感じながら、出来た喜びを保育者も共感し、活動を通して自信がもてるようにしていく。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">にんぼう、きになるのじゅつ！ニン！</p> </div>



＜劇遊び＞

5 歳 児							
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○共通の目標に向かって相談したり協力したりしながら、やり遂げる達成感や満足感を味わう。 ○役に合わせて表現を工夫しながら、劇遊びを楽しむ。 						
内容	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">健康</td> <td rowspan="5" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 5歳児が楽しめる絵本 「スイミー」「ないたあかおに」 「わんぱくだんシリーズ」 「ブレーメンのおんがくたい」 「さるかにかっせん」 その他 創作ストーリーなど </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">人間関係</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">環境</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">言語</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">表現</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・役割を分担し、一人一人が自信をもって取り組む。 ・友達同士で、同じ物語の世界を共有することを楽しみ、心を通わせる。 ・互いに思いを受け入れたり調整したりしながら、遊びを進めていく。 ・友達と一緒に遊びに必要なものを考えて作り、自分達で場を設定する。 ・自分のイメージを、相手にわかるように話す。 ・身体的表現や言語表現、造形表現など、様々な表現活動に工夫して取り組む。 ・感じたことや考えたことを、動きや言葉で自由に表現する。 	健康	5歳児が楽しめる絵本 「スイミー」「ないたあかおに」 「わんぱくだんシリーズ」 「ブレーメンのおんがくたい」 「さるかにかっせん」 その他 創作ストーリーなど	人間関係	環境	言語	表現
健康	5歳児が楽しめる絵本 「スイミー」「ないたあかおに」 「わんぱくだんシリーズ」 「ブレーメンのおんがくたい」 「さるかにかっせん」 その他 創作ストーリーなど						
人間関係							
環境							
言語							
表現							
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・役になりきって表現を工夫したり、自分で言葉を考えたりする。 ・役毎に集まり、考えたことや感じたことについて、友達と互いに伝え合う。 ・クラスの皆で集まったときに、劇をよりよくするための考えを発表したり、意見交換をしたりする。 ・表現したい役のイメージの違いなど、遊びの中で問題が起きた時には、互いに思っていることを話し合いながら遊びを進める。 ・見られることを意識しすぎることで、動きや声の大きさ等、表現が消極的になる子どもの姿がある。 ・遊びに必要なものを考え、適した素材や材料を自分で選択し、工夫しながら作っている。絵本や図鑑を見て、イメージを広げていく中で本物らしさを求める姿が見られる。 ・「発表会まであと何日？」等、日にちを意識し、見通しをもって取り組んでいる姿がある。しかし、意欲的に取り組んでいる子と、そうでない子とで言い合いやトラブルが生じることがある。 						
援助・配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージを広げられるような物語、絵本を読み、感じたことを話し合う場を設ける。どんな劇遊びをしたいか、何が必要か等、幼児の意見を聞きながら保育者も一緒に考える。 ・スケジュール表作りやイメージ図の制作を提案することで、見通しや意欲をもって活動に取り組めるようにする。 ・友達と考えを出し合い、自分達で遊びを進められるよう見守る。 ・話し合いが滞り、子ども同士で解決方法が見つからない場合は、より遊びが盛り上がる方法を、保育者も一緒に話し合いながら考える。 ・一人一人の表現を保育者が受け止め、認めることで自信や満足感を十分に味わえるようにする。また、遊びの中で一人一人の個性やその良さを認める。 ・友達の姿を見て、感じたことを言い合う場を設けることで、子ども同士が互いの良さを認め合えるような雰囲気を作る。 ・話し合いの中で、積極的に意見を出す幼児や消極的な幼児等、取り組みの姿勢に差があることを踏まえ、個々に応じて援助する。 ・大道具や小道具、衣装等、劇遊びの中で必要な物を作る中で、新しい素材や材料の多面的な使い方を知らせ、子どもの工夫を促す。 ・異年齢の子どもや保護者に見てもらふことで、個々の自信へとつなげていくとともに、クラスの友達と協力してやり遂げた満足感や達成感を味わえるようにする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>						